

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年4月6日（水）現在

【 野 菜 】

<きゅうり>

気温が高くなる予報から入荷の少なかった宮崎県及び群馬県産が増量となる見込み。
東北産も全体量は少ないが、出荷開始となる産地も増えるため相場は下げとなる見通し。

@A 1,300~

<いちご>

降雨や曇天、気温の低下などで消費は鈍く厳しい販売になってはきているが、全体的な入荷量が少ないため荷動きはあり、相場は保合となっている。

@2L 320~ @L 330~

<えんどう類>

○さやえんどう

福島県産及び徳島県産の今後の増量を見込んでおり、相場は弱保合で末端での産地切り替えをさらに進める販売となる見通し。

@A 1,600~（ハウス）

○スナップえんどう

福島県産及び愛知県産のハウス作がピークに向けて増量となり、量販店への案内を順次切り替えるために保合で慎重な販売となる見通し。

@A 1,000~（ハウス）

<アスパラガス>

栃木県産の増加が見込まれていることや気温上昇に伴い他県産も増量となるため、相場を弱めながら後続産地へ切り替えを進める展開となる見通し。

@AL 150~

JAふくしま未来
営農部園芸課